

1-3
4

増田

I
4

第一教育改革要綱(案)

昭和二十二年三月 總務室

甲 趣 旨

學制頒布以來我カ國教育カ封建的形態主義、權威主義、惰性、殘滓ト歐米諸國ニ對スル後進性ノ急遽ナル挽回ト、爲高度ナル國家的統制ト劃一化トヲ要請セラレタル歷史的基礎ヲ檢討確認シ新々ナル時代ノ性格ト之ニ基ク要請ニ即應シテ其ノ改革ヲ圖ラントス

乙 要 領

- 第一 責任ト自由ヲ重ンジ個人ヲ完成シテ國家社會ニ奉仕スベキ自發能動的實踐力ヲ有スル國民ノ教育ハ社會的効率ノ低下ヲ防止シ又ハ國土計畫上必要アル場合ノ外何等ノ劃一的制約ヲ受ケザルコトヲ教育法ニ於テ明示ス
- 第二 學校ノ程度、種類、修業年限、教科ニ關スル劃一性ヲ破壞ス
- イ 學校ノ程度ハ概ネ國民學校、中等學校(青年學校ヲ含ム)及大學(現制專門學校ヲ含ム)ニ階級トシ外ニ各種學校ヲ認ム
- ロ 學校ノ種類、修業年限、教科ハ國民學校ニ付テノ之ヲ劃一的ノ
- モ ノトシ中等學校ニ付テハ修業年限及學科目(教授時數ヲ含ム)ノ最少限ニ關シ大學ニ付テハ修業年限ノ最少限ニ關シテノ之ヲ法定ス

ハ各種學校ハ技術、技能、教養等ニ關シ教授シ其ノ程度、種類、修業年限、教科ニ付制約ヲ設ケズ

第三 學業入學資格ニ關スル制約ヲ撤消シ實力主義ニ依ル上級學校進學ヲ認ム

- イ 中等學校卒業者ハ凡テ同順位ニテ大學入學資格ヲ有ス
- ロ 別ニ中等學校學力被定制度ヲ刷新簡易化ス
- ハ 大學院ヲ廣ク凡テノ學校卒業者並ニ實務者ニ開放ス
- 第四 學校卒業ニ依ル教員無試験被定資格等ノ賦與ヲ廢止ス
- 第五 教員ノ廣汎自由ナル教育活動ヲ推進スルト共ニ教育ノ停滯、化石化ヲ防止スル爲教授方法ハ教育制度ニ改革ヲ行フ

イ 教科(指定セラルルモノヲ除ク)授業時數、學級編成等ハ之ヲ校長ニ任ス

口 教授要綱、要目ハ極度ニ簡素化ス
ハ 學徒ノ個性、發達指導ヲ重視ス
ニ 各科擔任制ヲ國民學校ニマテ擴大ス
ホ 中等學校、國民學校ノ教員ニ對スル優良ナル教師用參考指導圖書ヲ供給ス

ハ 中等學校、國民學校教員、各專攻研究ニ對シ大學ヲ中心トスル研究指導ヲ組織化ス

ト 教員養成並ニ免許狀制度ヲ刷新ス

ハ 師範學校、高等師範學校ヲ廢止シ中等學校、國民學校教員ハ大學卒業者ニ對シ概ネ一年程度ノ教員養成所ヲ設ケ其ノ修了者ニシテ一定期間ノ試補ヲ經タル者ヲ凡テ正教員トス

2 大學ノ教員ニ付テハ教員銓衡委員會ヲ設ケ其ノ銓衡ヲ經タル者ハ正教員トス

3 各種學校教員ニ付テハ別段ノ制約ヲ設ケズ
4 教員待遇、飛躍的改善ヲ行ヒ殊ニ私立學校教員ノ待遇ニ付向上ヲ

圖ル

ハ 官公立學校教員ニ付テハ其ノ官等俸給等ニ關スル根據法ヲ一元化シ一般官吏法ニ依ルカ又ハ同等ノモノトス

2 俸給平均額ハ一般官吏ト同等トス

3 私立學校教員ニ關シテハ前二項ニ準ン待遇基準ヲ法定シ且ツ恩給法ノ適用又ハ之ニ代ルベキ同等ノモノヲ設ク

4 前項ニ關シ要スレバ國家的財政措置ヲ考慮ス

リ 督學機構、充實刷新ヲ圖リ教員ノ教授、研究能力、熱意、人格等ニ關シ審査ヲ行フベキ常設機關ヲ附屬セシム

第六 四一のナラザル教育實施、必須的基礎トシテ左ノ方途ヲ講ズ

イ 教育ノ自主性ヲ確保シ教權ノ獨立ヲ明示ス

ハ 學問研究ノ自由ヲ明示ス

ニ 文部省ノ政治力ヲ強化ス

3 教育行政機構ヲ一般行政機構ト切斷シ且ツ教育行政ト教育ノ實際ト距離ヲ調整ス

口官公私並立學校間ニ何等ノ區別ナキコトヲ明示ス
ル學校ノ設置經營ハ、其ノ計畫、私立ハ均シク爲シ
シ私立學校ハ法定要件ヲ具備シタル上相出ニ依リ設置シ得ルモ
ノトス

ハ大學ノ地方分級ヲ圖ル
ニ個性指導ヲ可能ナラシムル爲ノ教育施設ノ適正規格ヲ確保ス（各
種學校ヲ論ク）

- 1. 學校學級ノ児童生徒數ハ、其ノ最高限度ヲ法定ス
- 2. 實績、實習ノ方法、施設ノ適正規格ニ付法定ス
- 3. 教員定數、設備、財政能力ノ最少限ニ付法定ス

本教科用圖書ニ付刷新ヲ行フ
1. 國定教科書制度ハ國民學校ニ付テノモ行フ
2. 中等學校以上ニ付テハ國定教科書制ヲ廢止シ之ニ代フルニ學徒
ノ研究指導、自習指導ニ裨益スベキ稍高度ナル參考圖書ヲ編集
供給ス

劃一教育打破ニ關スル檢討並ニ措置(案)

劃一教育打破ハ現下教育刷新上ノ喫緊要務ナルモ所謂劃一教育ノ因由スル所ハ歴史的社會的ニ深く且ツ遠キモノアリ。ソノ根本的解決ハ國家體制全般ニ互ル一大革新ヲ俟チテ始メテ可能ト言フベシ。依ツテココニハ、一應ノ檢討ニ留メ且ツ現行ノ教育制度及ビ内容ニ就キテ可能ナル範圍ニ於テ之ガ措置ヲ考慮セントス。

一、劃一教育ノ因由

- (イ) 先進諸外國ニ倣ヒテ近代教育ヲ實施セントセル學制頒布以來ノ我が教育國策ガ、劃一的實施ヲ餘儀ナクセラレタルコト
- (ロ) 我が國ニ於ケル近代國家建設ノ努力ガ常ニ國家ノ保護ヲ核心トセルタメ經濟的ニ文化的ニ國家統制ノ色彩ガ濃厚ナリシコト
- (ハ) 封建的因襲ニ基ツク形式主義權力主義的思潮ノ強カリシコト
- (ニ) 近代歐米ノ教育思潮及ビ教育理念ノ移入盛ニシテ教育界ニ於テ我が國民生活ノ中ニ充分ニ攝取セントスル配慮ヲ缺キ直ニソノ教育効果ヲ期待セントスル傾向濃厚ナリシコト

(四) 學校系統及ビ其ノ組織ヲ精緻ニセントシテ形式的整備ニ過大ノ力ヲ注ギタルコト

(五) 上級學校卒業ノ社會的特權過大ニスギタルタメ下級學校ハ上級學校入學準備ノ豫備校的傾向少カラザリシコト

(六) 國家社會ノ教育ニ對スル熱意不足、從ツテ實際上教育輕視ノ風潮ニ伴ヒ國家豫算ニオケル教育費ノ歩合頗ル低率ナルタメ教育設備不完全、教員ノ素質低劣ヲマヌカレザリシコト

(七) 以上ノ諸原因ニモ拘ラズ大正末期頃ニ於テハ劃一教育打破、個性尊重ノ教育思潮擡頭セルモノノ後急激ニ國內ヲ風靡セル軍國主義的風潮ハ教育ノ形式主義劃一主義ニ拍車ヲ加ヘ文敎行政面ノ組織イタズラニ歴大トナリ、教育ヲ規制スル諸法令、諸規定愈々煩瑣トナリテ、教育界ニオケル自主的氣運ヲ漸次喪失セシメルニ至リタルコト

二、措置要領

(一) 教育ニオケル國家的統一ノ限界ヲ明確ニスルコト

教育ノ自主性ヲ確保シ、國家理念ノ徹底ヲ計ランガ爲ニハ充分ナル教

育費ヲ獲得シテコレヲ教育界ニ均霑セシメ、教育大綱ニ關スル企畫運營ヲ掌リ、教育ノ實情ヲ把握シソノ完璧ナル調査ヲ遂行センガ爲ニハ文部省ハ強力ナル政治力ヲ確保スルト共ニ教育ニ統一性ヲ保タセルトメ學校立地計畫、基本的教科ニ關スル規定、初等教育用教科書ノ制定、教育上ノ弊害ヲ最少限度ニトドムルタメノ法令的措置等ニツキテハ統一的措置ヲ講スル必要アリ。

(ロ) 敎職員ニ人材ヲ吸收シソノ自主的ニシテ重厚ナル教育活動ヲ振勵スルコト右ノタメニハ敎職員ノ待遇ヲ飛躍的ニ増大シ敎職員ノ研究時間ヲ充分ニ與ヘ、學校ニオケル敎職員ノ定員ヲ増大シ、敎員一人當リノ擔當生徒數ヲ縮減シ、敎員資格ニ關スル制限ヲ徹底的ニ緩和スルト共ニ敎職員ノ相互研究、生活上ノタメノ自主的ナル敎員組織ノ發達ヲ促ス

(ハ) 學校令並ニ其ノ附屬法令ヲ簡潔ニスルコト

教育ノ自主的活動ヲ防グルガ如キ諸規定ヲ撤廢シ特ニ敎授要綱、敎授要目ニ關スル規定ノ如キハ之ヲ最少限度ニトドメ國定敎科書ノゴトキハ初等教育用以外ノモノヲ廢止シ敎科書ノ採用ニハ敎師ノ自由ナル選

擇ヲ與ヘルト共ニ一般ニ副教科書ノ如キ教材ヲ多ク使用セシムル餘地ヲ與フルコト

(二) 學校系統並ニ進學規定ヲ單純化スルコト

普通教育ノ義務年限ヲ長期トシ(少クトモ十年)其ノ高學年ニオイテハ被教育者ノ個性能力ニ從ヒ諸種ノ職業教育ヲ加ヘルト共ニ專門教育ト普通教育ノ直結ヲ計ル

所謂師範系統ノ學校系列ヲ撤廢シ專門教育修了程度ノ教養ヲ有スル者ノ入學シウル短期間ノ教員養成機關ヲ設ケ廣ク教員ノ志望者乃至適格者ヲ入學セシム

學校卒業ニヨリ上級學校入學資格ヲ與フル制限ヲ撤廢シ普通教育修了者ハアラユル學校ニ入學シウル如ク措置ス

專門學校低學年生徒ノ他ノ專門學校ヘノ轉學ヲ自由ニス

(三) 各種各程度ノ學校ノ私立經營ノ自由ヲ確立スルコト

アラユル教育過程ニオケル個別指導ノ方途ヲ講スルコト

教育内容特ニ教室一齊教授ノ内容ヲ簡素單純ニシテ、生活指導並ニ研

